

沿道への環境負荷を軽減するため、大気浄化技術のフィールド実験や、大気の常時観測局の設置、道路構造の改善を行う。

1 沿道への環境負荷を軽減する大気浄化技術のフィールド実験の実施

浮遊粒子状物質（SPM）、窒素酸化物（NO_x）を除去するための大気浄化技術のフィールド実験を推進する。

【国道357号大田区京浜島の低濃度脱硝技術のフィールド実験】

- ・道路トンネルの換気所で排出ガスの影響を軽減する技術として、フィールド実験を実施中

< 実験での装置性能目標 >

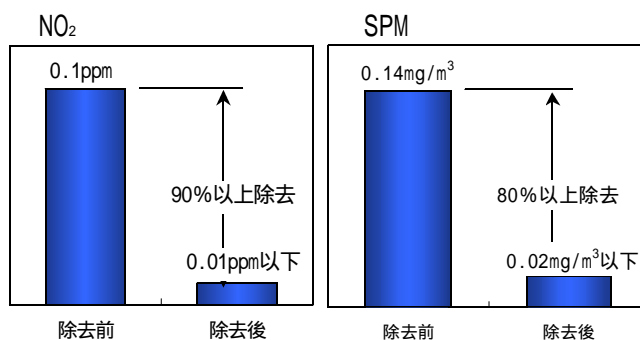
NO₂ : 90%以上(1日平均値)

SPM : 80%以上(1日平均値)



低濃度脱硝技術の実験施設

< 実験結果 >



測定位置は換気塔出口部

(測定日 平成10年2月27日～3月5日)

施策事業

低濃度脱硝装置技術

- ・国道357号大田区京浜島

[フィールド実験実施中]

電気集じん機

- ・首都高速都心環状線千代田トンネル等3箇所

[フィールド実験実施中]

土壌等による大気浄化技術

- ・国道17号・環状七号線・首都高速5号線大和町交差点

[フィールド実験実施中]

- ・国道1号・環状七号線松原橋交差点

[フィールド実験実施中]

- ・環状六号線大坂橋交差点

[公募実験実施中]

道路環境政策の企画立案やその評価のため、沿道環境が特に厳しい地域を中心に大気の常時観測局の設置を進める。また、その測定結果についてはインターネット等で公表する。

【整備例：観測局の設置、インターネット等による公表】



〔国道1号松原橋局〕

出典：国土交通省資料

施策事業

大気の常時観測局の設置

- ・ 国道1号松原橋交差点他8箇所を設置〔運用中〕
- ・ 首都高速9号線他3箇所を設置〔運用中〕
- ・ 都内の主要交差点20カ所に大気の常時観測局を設置していく予定

既存の幹線道路において、沿道への影響を緩和するとともに、快適な歩行空間を確保するため、道路緑化・環境施設帯の整備や、環境緑地帯の設置等を行う。

【整備効果例：道路緑化】



国道20号（千代田区三宅坂）



補助230号線（練馬区光が丘）

施策事業

道路緑化の推進

- ・国道20号日野坂交差点の道路緑化 [平成15年度完成予定]

環境施設帯の設置

- ・新規に整備する調布保谷線や府中所沢線に設置する環境施設帯において、沿道住民と協働して施設の構造等を検討

環境緑地帯の設置

- ・環状七号線 [事業中]

緑陰道路プロジェクトの推進

- ・国道1号霞ヶ関地区
- ・赤坂杉並線表参道地区、中野通り松が丘新井地区